

うしぶか おど  
牛深ハイヤ踊り

熊本県天草市  
牛深ハイヤ保存会

※平成19年度地域伝統芸能大賞地域振興  
賞受賞

※詳細は、4ページをご覧ください。



うちだ おど  
内田ササラ踊り

長野県松本市  
内田ササラ踊り保存会

※松本市重要無形民俗文化財

かつては、8月7日の七夕ころから常楽寺・法船寺などの庭で輪踊りで踊られ、16日の送り盆に牛伏寺まで上り、夜を徹して踊られていた。内田の若い衆は観音堂前の庭で踊り、近隣の村から来た人々は仁王門の脇で踊る。翌日から他の寺院の庭で踊り、23日ころに塩尻市の永福寺まで出向いて踊りを納めたといわれている。踊る場所が、日々動いていくというところに特徴があった。現在の踊りは、中央にやぐらが設けられ、そのまわりを輪踊りの形で踊られ、昭和初期までは、内田盆踊り唄というものがあったが、性的な内容が多かったため、昭和11年に歌詞を村民から募集して、内田小唄として30番まで作ったといわれている。ササラを持って踊る人は、ササラを立てて節近くを両手で持ち、動かす足の方向へ左右に打ち振ってササラの音を出しながら左に回り、ササラを持たない人は、うちわを持つか、前の人の肩に手をかけるかして足の動作だけで踊るのが基本。由来については不詳であるが、官牧であった内田で、献上馬を都へ送り出す時の身振り手振りがその始まりともいわれている。その後、牛伏寺信仰と結びつき、献上馬を送り出した日が8月15日であったことから、盆踊りの形をとって大衆化したといわれている。



7/29  
(日)

地域伝統芸能公演

13:00~17:00

いわさきおにけんばい  
岩崎鬼剣舞  
とうけんまい  
刀剣舞

岩手県北上市  
岩崎鬼剣舞保存会

※国指定重要無形民俗文化財  
※平成7年度地域伝統芸能大賞第2類受賞  
(北上・みちのく芸能まつり実行委員会)

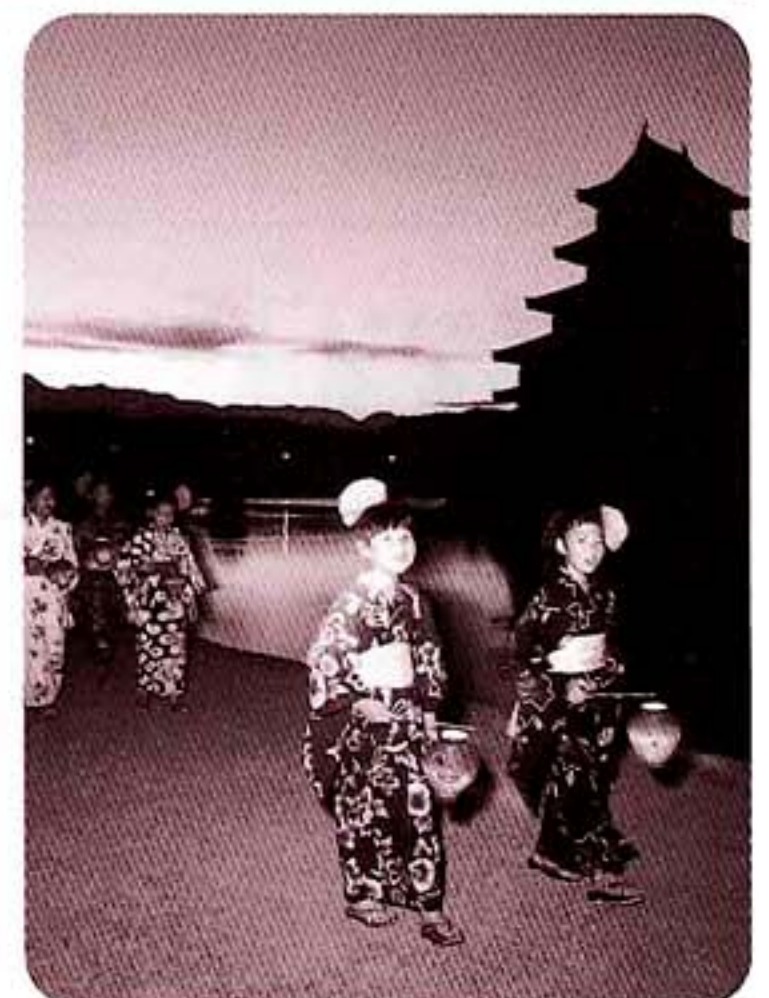
「鬼剣舞」は北上地方の農民達が伝承する東北を代表する民俗芸能で、勇壮で激しく、厳粛で穏やかな所作の中にも、素朴さとたくましさを持っている。正式には「念仏剣舞」の一つだが威嚇的な鬼のような面(仏の化身)を付け踊るところから「鬼剣舞」と呼ばれ親しまれている。大宝年間(701~704年)に修験の祖、役の行者小角が念仏を広めるために念仏を唱えながら踊ったのが始まりという説や、大同年間(806~810年)に羽黒山の法印、善行院荒沢鬼渡大明神で悪霊退散、衆生済度の念仏踊りとして伝えられたのが始まりとも言われ、延文5年(1360年)には岩崎城主岩崎弥十郎が主君の和賀政義を招き、場内で剣舞を踊らせたところ政義は大いに喜び、家紋の一つ「笹リンドウ」の使用を許可したといえます。現在の鬼剣舞は中世の「念仏踊り」を本としながら、近世初期から中期までには、今見るような芸能が出来上がっていたものと思われる北上地方には岩崎鬼剣舞を始祖として13の踊組が伝承されている。



ぼんぼん  
あお やま さま  
青 山 様

長野県松本市  
鎌田小学校征矢野地区PTA  
※長野県選択無形民俗文化財

松本の夏の夜を彩る風物詩の中に「ぼんぼん」と「青山様」の二つの祭りがある。青山様とぼんぼんは、ともに江戸時代の末期頃から城下町の親町三町である、本町、中町、東町を中心に始まったといわれている。青山様は、「青山神社」という小さな幟をたてた御輿を担ぎ「青山様だい、わっしょいこらしょ」と掛け声をかけながら町内の各戸をまわる八月上旬に行われる男の子の行業で、地区によって掛け声が異なることもある。町では、賽銭を集める地区がかなり多くあり、学年によって神輿をかつぐ者、神輿を休める台を持つ者、賽銭箱を持つ者など役割を決めている場合が多く、神輿には青杉が盛られ、この行事は、祖先の霊を迎えるものともいわれている。ぼんぼんは紙で作った花を頭にさし浴衣にほおずき提灯を下げポックリ下駄をはいて「ぼんぼんとても今日明日ばかり、あさっては山のしおれ草」と町内をうたい歩く、八月上旬におこなわれる女の子の行事。かつては現在のように列を組まず、「盆を組む」といって女の子が互いの肩に手を掛けて町なかを練り歩いたといわれている。歌は、現在では、一番だけがうたわれているのがほとんどで、地区によっては、付き添いをする保護者も歌をうたえず、歌を録音したテープを流しながらおこなう所もあり、哀調を帯びたメロディーで、先祖の霊をしずめる行事ともいわれている。



しまだちほりごめはだかまつ  
**島立堀米裸祭り**

長野県松本市  
島立堀米裸祭り実行委員会  
※長野県指定無形民俗文化財

例年7月1日に行われる津島神社の夏祭り、男児が晒木綿のもつこ禪姿で紙幟を持ち、掛け声をかけ、厄除けなどを祈願してまわる。親玉（6年生）、中玉（4～5年生）、小玉（1～3年生）の男の子が主役。

裸で行うのは、本宮の「津島川祭」の裸男に系譜をもち、幟を担いで村境を周るのは、神の力の移った幟と共に、「俺たちはこんなに元気だぞ、疫病なぞ寄せ付けないぞ」とする示威と防寒行為と共に、津島様のご利益が村中にゆきわたり、夏を迎え病気に苦しむことがないと村人は安心した。

五色の紙幟の竿に用いる葦は、本宮の「紙葦の神事」と関係し、葦に託して疫病を放逐する意味を持つ。

山国に於ける裸祭りは少なく珍しいとされている。

昭和63年3月24日 長野県無形民俗文化財指定



べっしょおんせんたけ のぼり  
**別所温泉岳の幟**

長野県上田市  
別所温泉岳の幟保存会  
※国選択無形民俗文化財

岳の幟は、7月15日の早朝、夫神岳（1,250m）の山頂の九頭竜権現に長幟を献納し、雨乞いを祈る祭り。

〔鼈踊〕

現在は女兒のみで舞われますが、かつては男児で、花笠でなく鉢巻だったといわれている。鼈は「スリザサラ」で、道行や入退場は柄を打ちながら歩き、舞になると持ち替えて、摺り合わせる振りになる。伴奏は笛と太鼓。太鼓は2本の竹に据え付けられた締太鼓を男児が打ち、それに「鼈唄」が女兒によって、可愛らしく歌われる。

〔三頭獅子〕

鼈踊が終わって退場の「道行」の案に乗って、三頭獅子が続けて登場する。ここは緑色の男獅子2頭、赤色の女獅子1頭で構成されている。



さえぐさししまい  
**三枝草獅子舞**

兵庫県姫路市  
三枝草獅子保存会  
※姫路市無形民俗文化財

茶色の毛と黒い毛の二頭の毛獅子が、夢前町前之庄地区5自治会の氏神である天神社の秋祭りに五穀豊穡を祈願し奉納舞を行う。以前は10月17日に行っていたが、現在は体育の日とその前日に行っている。演目には神楽、岡崎、棒、刀、牡丹、吉野、蝶子、曲舞、相の山、道引、お山の道中、梯子の12種の舞があり、中でも7メートルの梯子の上で舞う梯子獅子は、頂上で左右に頭を大きく振る勇壮な舞で、近隣の同種の獅子舞の中でも異色である。



はふえびよるしん かめんげき  
**河回別神グッ仮面劇**

韓国 安東市  
河回別神グッ仮面劇保存会

河回別神グッ仮面劇はとて韓国的な伝統芸能で大昔から地域の人達の生活と共に育んできた仮面劇である。河回別神グッ仮面劇の些細な身ぶり手振りから韓国の線の美学を発見することができる。それにゆっくり踏み出す足元や眼差しには永い間引き継がれてきた韓民族の営みをそのまま残している。河回別神グッ仮面劇には様々なキャラクターと豊かな感情表現が行われている。又、河回別神グッ仮面劇には人間の生き様に風刺と滑稽が含まれており韓国人のみならず世界の人にも共感し、楽しむことができる伝統芸能である。韓国の伝統的な興味を味わうことができる河回別神グッ仮面劇に皆様のご関心とご声援をこころより期待する。

使われていた仮面は12世紀（高麗中期）頃の作品であることから国宝第121号に指定されており韓国でも古来の姿を色濃くとどめる優れた伝統芸能を保存しながら後代に伝承していく活動をしている。



たいわんはっ かしょう  
**台湾八家将**

台湾 台北市  
国民大戲班

「八家将（ハッカショウ）」とは、主神を守るために配属された八種の武将達（ボディガード）のことを意味し、名前からもわかるように、八人が一組となって京劇のような華やかな衣装に身を包んで、台湾各地で行われている廟会（道教のお祭り）で魔よけや祈りを目的とした厳粛かつ神秘的なパフォーマンスを行う集団として台湾では欠かせない存在である。

台湾の民間信仰である道教では、職務を司る「大神」を除いて地方の廟では疫病の神様である「王爺」や「城隍爺」、「五福大帝」、「靈安尊王」、「地藏王」が祀られている。

それぞれの主神には武将（ボディガード）が配属されており、武将のそれぞれが主神を保護しながら妖怪や流行病を取り除くことを仕事とする役割をもっている。台湾の廟会（お祭り）の中でよく見かける武将集団のひとつが「八家将」である。彼らは、さまざまな災難を払うものとして民衆から大きな信仰と尊敬を集めており、台湾の民俗文化におけるひとつの象徴とされている。

今回、「台湾観光ロードショー《Wish to See You in TAIWAN ~ 2007年台湾で会いましょう》」の観光PR活動に参加するために台湾より来日した「国民大戲班（コクミンダイギハン）」による迫力あるダイナミックな「八家将（ハッカショウ）」のパフォーマンスを是非お楽しみいただきたい。



たいわんせんじゅうみんぞく  
台湾先住民族  
あみぞくほうねんさい  
阿美族豊年祭

台湾 花蓮市  
原郷舞踊団

台湾における先住民族は、たいへん広く分布されており、台湾全土の約半分を占める土地に、12の異なる部族が居住している。12部族のそれぞれの言語や伝統などは実に多様である。

今回の「日本のまつり 2007 in 松本」に参加するために台湾より来日したのは、台湾の東部に多く居住をしているアミ族「原郷舞踊団」のみなさん。

台湾の先住民族達の舞踊には、戦いや豊作、そして甘く切ないラブソングにいたるまで、部族のなかで古くから伝えられてきた様々なものがある。そのなかでも、アミ族は歌と踊りを大切にしてきた民族とされ、古くから美しい衣装に身を包み、悲しいことも、嬉しいことも、全てのメッセージを歌や舞踊に託して現代まで伝承してきた。

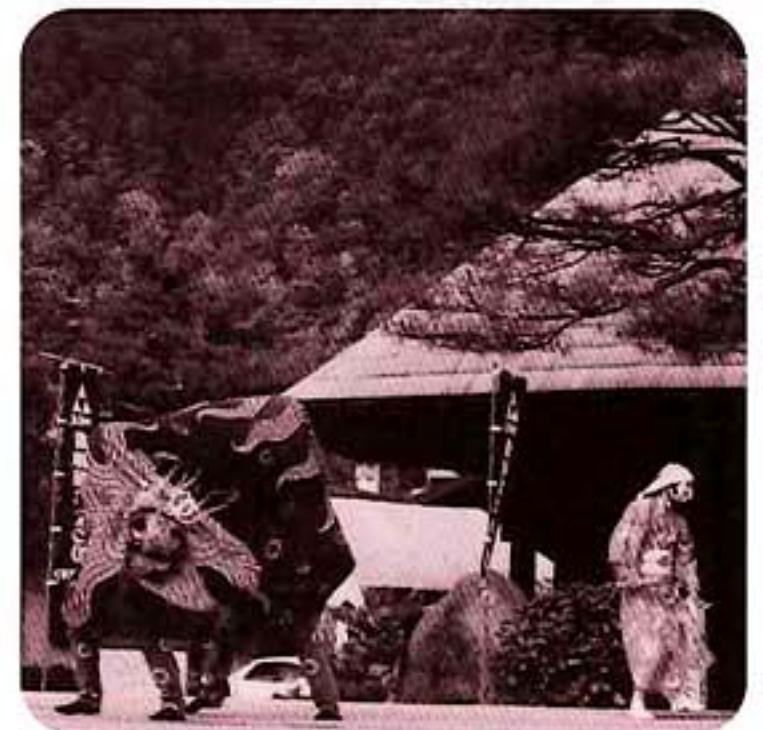
軽快なリズムによって明るい印象の楽しそうな歌舞が多いのがアミ族の特徴である。夏の季節を迎えるとアミ族たちは今年の収穫を祝い、そして来年の豊作を祈願する華やかなお祭りを台湾東部で毎年開催している。「アミ族の豊年祭り」と呼ばれるこのお祭りは、台湾における夏の年中行事としても最も有名なお祭りのひとつ。今回はアミ族の代表的な歌舞を厳選してきたもの。台湾アミ族による伝統舞踊をお楽しみいただきたい。



きんぞうじし  
金蔵獅子

岐阜県高山市  
下切町金蔵獅子保存会  
※高山市無形民俗文化財

金蔵獅子は飛騨から越中へかけ各地に伝承され、4名の演技者と囃子方7名で行われる勇壮活発な獅子舞。ある村に野獅子が出没し、田畑を荒らし農民を困らせていた。そこに金蔵という勇敢な若者が現れ、獅子退治に向かわんとするが、彼に思いを寄せるおかめという乙女と一緒に来たがる。金蔵はおかめをおいて退治に向かうが、なかなか獅子を退治できないでいるなか、後を追ったおかめの助力もあり金蔵は見事に獅子を討ち取ることが出来た。その後豊作が続き、村が栄えたことから、五穀豊穡と家庭円満を祈念して奉納されるようになったという。



まつもとしな  
松本市内  
たいこきょうえん  
太鼓の競演

長野県松本市  
国宝松本城太鼓まつり企画委員会

国宝松本城太鼓まつりに企画段階からスタッフとして参画し、ゲスト出演者の選考、ステージ運営に協力いただいている地元松本市の六団体（浅間温泉火焰太鼓保存会・本郷地区子ども会若獅子太鼓・国宝松本城古城太鼓・中山太鼓連・下今井太鼓連・四賀鼓龍会虚空蔵太鼓）が、松本市制100周年と20回目を迎える国宝松本城太鼓まつり、それぞれの節目となる今年、6団体の精鋭達による特別チームを編成し、松本の太鼓の技とチームワークを披露する。



にしもな いぼんおど  
西馬音内盆踊り

秋田県羽後町  
西馬音内盆踊保存会  
※国指定重要無形民俗文化財  
※平成11年度地域伝統芸能大賞第1類受賞

700年以上踊り継がれたといわれる西馬音内盆踊り。幻想的な黒い覆面のひこさ頭巾姿と端縫い衣装の編み笠姿は美しい対照を醸し、その昔交流のあった都への憧れが募った結果ともいわれる優美で優雅な踊りである。正応年間（1288年～93年）に源親という修行僧が蔵王権現（現在の西馬音内御獄神社）を勧請し、この境内で豊年祈願として踊らせたという説があり、これが慶長六年（1601年）西馬音内城主小野寺茂道一族が減び、土着した遺臣たちが君主を偲び旧盆の16日～20日までの五日間、宝泉寺境内で行われた亡者踊りと合流し、以降現在の本町通りに移り継承されている。



にいの ぼんおど  
新野の盆踊り

長野県阿南町  
新野高原盆踊りの会  
※国指定重要無形民俗文化財

天竜川流域の「三遠南信地方」は、「芸能の宝庫」といわれるほど古い民俗芸能が数多く分布する地域。その中でも阿南町新野は、冬の雪祭り・夏の盆踊りなど多彩な芸能を伝える、高原の小さな町である。お盆の三日間徹夜で踊られる盆踊りは、囃子を使わず音頭（肉声）だけで踊る古風なもので、歌詞も古いものを残している。新野盆踊りの圧巻は、16日明け方の「踊り神送り」で、最後まで踊り続けようとする若者たちと、それを押しつけて進む切子灯籠＝新精霊が激しくも感動的なせめぎ合いを演じる。今なお「踊り」と「送り行事」が一体として行われる新野盆踊りは、私たちの祖先の時代の民俗の姿を伝えるたいへん貴重な文化財といえる。



わごう ねんぶつおど  
**和合の念仏踊り**

長野県阿南町  
和合念仏踊り保存会  
※国選択無形民俗文化財

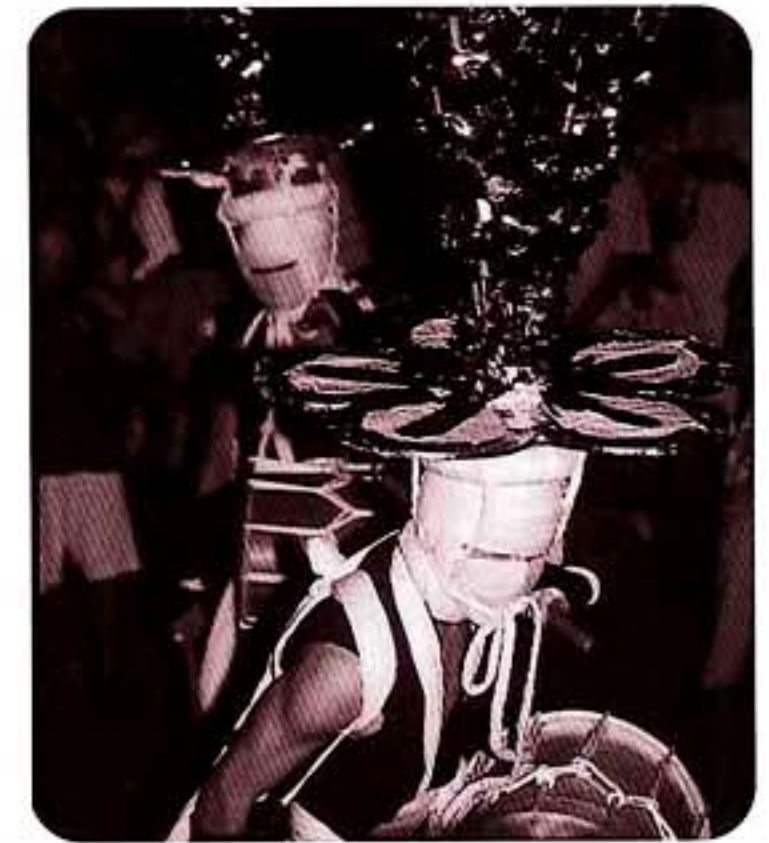
踊りの由来とされるものは2つあり、ひとつには約600年前、鎌倉騒動の時に遠州よりやってきた落ち武者に端を発するもので、15代目の雷公五良助が江戸表へ免租願いに出た帰り道、川中島に立ち寄り、村の土産にと習い覚えて今日に至ったとするもの。もうひとつは、今でも念仏踊りのしきたりを残している宮下家は遠州を出身地としており、その地の大念仏の行事に由来するのではないかという説である。当初は昼間に行われていたが、いつしか夜になりまた屋になったりとを繰り返して、現在は再び夜に行われている。踊りはとても激しいもので、ヤッコが長い竹の先に付いたチガヤをぐるぐる回し、6〜7人の者が太鼓を打ち、カネを鳴らし、ヒッチキをガラガラとさせながら裸足で飛び跳ねる。かん高い音に、ほとぼしるエネルギーが重なり、その様は見る者を圧倒していく。太鼓もヤッコもヒッチキも笛に合わせ、踊りのスピードやテンポは笛がすべて拍子をとっているが、意外にもその笛を担当しているのが幼い子供たちなのである。



りょうし おど  
**獵師かんこ踊り**

三重県松阪市  
獵師かんこ踊り保存会  
※三重県指定無形民俗文化財

「かんこ踊り」は、三重県中部から南西部地方で旧盆を中心に行われている盆踊りの一種。胸に羯鼓（かんこ）と呼ばれる締太鼓を下げ、両手のパチで打ち鳴らしながら踊り、かぶりものや背にかつくものが大型で華やかな「風流芸能」である点も特徴である。「かんこ踊り」には農耕儀礼的・神事的側面の強い「雨乞い踊り」と、主にお盆に踊られ新盆供養の性格の強い「念仏踊り」の二種類に分類され、松阪市獵師町で行われる「獵師かんこ踊り」は「念仏踊り」系とされ、8月13日から15日までの三日間、毎晩徹夜で催され、観光客などで大変な賑わいをみせる。踊り歌は、「やれやれ音頭」、「ふれ音頭」、「道中音頭」と流れ、末を申せばで一踊りを終わる。内容は、道中音頭に綱かけ・雉子狩り、さくらこ・世の中などが歌われ、踊り子は4人で、頭にシャゴマと呼ぶ花笠を被り、山形の波を染め抜いた紺の法被に、紺の手甲・脚半を装飾する。海念寺を振り出しに初盆の家を二度訪れて踊り、盆の月下、低い歌声、太鼓の音に乗って、力強く踊る踊り子の姿は、精霊の化身とも感じられる。



**エイサー**

沖縄県沖縄市  
沖縄市登川青年会  
※平成18年度地域伝統芸能大賞活用賞  
受賞（沖縄全島エイサーまつり実行委員会）

エイサーは盆に先祖供養のため行われる芸能で、「エイサー・エイサー」と掛け声勇ましく太鼓を連打し、唄と踊りを通して自然や神と共に生き、地域繁栄を願うものである。このエイサーの起源は「ニンブチャーウドゥイ（念仏踊り）」であるといわれ、以前は「ニンブチャー（念仏僧）」が人が死ぬと家に招かれ、鉦や太鼓を打ち鳴らし念仏を誦えながら踊るものであった。その歴史は500年以上も前の「李朝実録」に記録として残っており、その頃に始まったと考えられている。沖縄市登川青年会のエイサーは、明治初期を起源とし、現在の型は、沖縄民謡の第一人者である登川誠仁氏らによって1970年に創られ、現在に至っている。登川エイサーの特徴は独特な足の運びと、テンポよくリズムカルに且つ力強く頭の廻りを回すパチさばきに定評がある。



7/28  
(土)

29  
(日)

**観光物産展** まつもと市民芸術館  
ホワイエにて

両日共 11:45~17:30

観光物産ブース

- 佐賀県鹿島市 浮立とガタリンピックの里「鹿島市」
- 岐阜県高山市 (有)中家製菓舗
- 沖縄県沖縄市 沖縄全島エイサーまつり
- 長野県松本市 鎌倉麺業
- 長野県松本市 宮下清志商店
- 長野県松本市 松本地酒振興協同組合
- 長野県松本市 藤林屋
- 長野県松本市 M's Factory
- 長野県松本市 水城漬物工房
- 長野県松本市 信州土産たかぎ
- 松本市市制施行100周年記念事業実行委員会事務局

出演団体地元紹介コーナー

- 徳島県徳島市 阿波おどり
- 新潟県柏崎市 綾子舞
- 石川県金沢市 金沢百万石まつり  
／加賀とびはしご登り
- 長野県南木曾町 田立の花馬祭り
- 長野県大鹿村 大鹿歌舞伎
- 島根県安来市 安来節
- 佐賀県鹿島市 行成面浮立
- 熊本県天草市 牛深ハイヤ踊り
- 岩手県北上市 岩崎鬼剣舞／刀剣舞
- 長野県上田市 別所温泉岳の幟
- 岐阜県高山市 金蔵獅子
- 韓国安東市 河回別神グッ仮面劇
- 台湾台北市 台湾八家将
- 台湾花蓮市 台湾先住民族・阿美族豊年祭
- 兵庫県姫路市 三枝草獅子舞
- 秋田県羽後町 西馬音内盆踊り
- 長野県阿南町 新野の盆踊り  
和合の念仏踊り
- 三重県松阪市 獵師かんこ踊り
- 沖縄県沖縄市 エイサー
- 長野県松本市 内田のササラ踊り  
ぼんぼん・青山様  
島立堀米の裸祭り

伝統工芸実演コーナー

- 長野県松本市 松本民芸家具

# サテライト会場

国宝松本城本丸庭園特設ステージ

## 7月28日(土)

◆ 16:30~20:30

### 第20回 国宝松本城太鼓まつり

- ◎上山太鼓囃子鼓流 鼓流桜組 (山形県上山市)
- ◎本郷地区子ども会若獅子太鼓 (長野県松本市)
- ◎福崎太鼓保存会 (兵庫県福崎町)
- ◎みや誠承太鼓 (福島県いわき市)
- ◎四賀鼓龍会虚空蔵太鼓 (長野県松本市)
- ☆阿波おどり (徳島県徳島市)
- ☆加賀とびはしご登り (石川県金沢市)
- ◎下今井太鼓連 (長野県松本市)
- ◎創作和太鼓集団『雅美 -MIYABI-』  
(香川県高松市)
- ◎御諏訪太鼓 (長野県岡谷市)
- ◎国宝松本城太鼓まつりオールスターズ  
【これで女打!】  
浅野 町子、的場 凜、新垣 千里  
山本 綾乃、大沢しのぶ

## 7月29日(日)

◆ 16:30~20:30

### 第20回 国宝松本城太鼓まつり

- ◎和太鼓狭山 けやき会 (埼玉県狭山市)
- ◎加賀太鼓保存会 (石川県小松市)
- ◎中山太鼓連 (長野県松本市)
- ☆河回別神グッ仮面劇 (韓国安東市)
- ☆台湾八家将 (台湾台北市)
- ☆台湾原住民族・阿美族豊年祭 (台湾花蓮市)
- ☆エイサー (沖縄県沖縄市)
- ◎相模国飯山白龍太鼓保存会 (神奈川県厚木市)
- ◎和太鼓道場 ドンドコ (東京都江戸川区)
- ◎国宝松本城古城太鼓 (長野県松本市)
- ◎浅間温泉火焰太鼓保存会 (長野県松本市)
- ◎国宝松本城太鼓まつりオールスターズ  
【これで男打!】  
ヒダノ修一、今福 優、佐藤 健作、  
林田ひろゆき、高田 淳

☆メイン会場からのゲスト出演団体。(名称は演目名)



# 花時計公園会場

街中演奏・夏祭ふれあいステージ

7/28  
(土)

## 街中演奏

13:30~15:30

●国宝松本城太鼓まつりに参加する県外の太鼓団体によるデモンストレーション演奏

7/28  
(土)

## 夏祭ふれあいステージ

17:30~19:00

### ◆阿波おどり

徳島県徳島市  
阿波おどり振興協会所属連  
徳島県阿波踊り協会所属連

### ◆台湾先住民族・

阿美族豊年祭  
台湾 花蓮市  
原郷舞踊団

### ◆岩崎鬼剣舞／刀剣舞

岩手県北上市  
岩崎鬼剣舞保存会

### ◆牛深ハイヤ踊り

熊本県天草市  
牛深ハイヤ祭り実行委員会

### ◆西馬音内盆踊り

秋田県羽後町  
西馬音内盆踊保存会

### ◆エイサー

沖縄県沖縄市  
沖縄市登川青年会

### ◆河回別神グッ仮面劇

韓国 安東市  
河回別神グッ仮面劇保存会

### 司会者プロフィール



中川 倫子

本名：中川倫子 Nakagawa Rinko  
出身地：東京都  
趣味：読書、旅行、散歩、観劇  
特技：英会話、チアリーディング  
資格：TOEIC 857点、ジュニアベジタブ  
ル&フルーツマイスター、普通自  
動車免許

7/29  
(日)

## 街中演奏

13:30~15:30

●国宝松本城太鼓まつりに参加する県外の太鼓団体によるデモンストレーション演奏

### お問い合わせ

#### 第15回地域伝統芸能全国フェスティバルまつもと実行委員会

本部事務局（財団法人 地域伝統芸能活用センター内）／TEL.03-5919-3665

開催市事務局（松本市市制施行100周年記念事業実行委員会）／TEL.0263-34-3000（内線1262）

ホームページ <http://100sai.city.matsumoto.nagano.jp/modules/nihonnomatsuri/>

日本財団は、地域伝統芸能活用センターが行う  
「地域伝統芸能の普及・発展のための事業」を  
支援しています。

## 日本財団の事業

### ◆福祉、医療、社会問題に関すること

「もったいないをカタチに」をテーマに、福祉車両の配備、改修による福祉拠点整備などの社会福祉事業、ホスピス・プログラム、犯罪被害者の支援、生涯スポーツの推進など、地域に密着した活動を支援しています。

### ◆海や船に関すること

「海に守られた日本から海を守る日本へ」をテーマに、航海安全のための国際協力、海や船に関わる研究開発、青少年への海事知識の普及活動などを展開しています。

### ◆海外での援助活動に関すること

世界各国で人々が直面する貧困、飢餓、病気などの基本的諸問題の解決と、社会発展を担う人材育成のために、国際機関、各国政府、NGOなどと協力して支援活動を展開しています。

Webサイトで  
情報を公開しています。

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>



**日本財団**  
The Nippon Foundation



日本財団は、競艇の売上を財源に公益活動を推進しています。